

平成26年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	1	13時台	食料品製造業	30人以上 49人	墜落・転落	動力運搬機	被災者はフォークリフトで高さ約2.2mの箇所ではパレットに乗って移動していたところ地面に墜落したものの。
26	2	22時台	土石製品製造業	10人以上 29人	はさまれ まれ・巻き込	動力運搬機	被災者は砂利プラントにおいて単独で製造を行っていた。発生時刻頃連絡が取れないため、被災者を探したところベルトコンベヤのベルトとフレームに足を挟まれている被災者を発見したが、その後死亡したものの。
26	9	7時台	金属製品製造業	10人以上 29人	飛来・落下	動力クレーン等	被災者は、橋形クレーンが設置された資材置き場内で、結束された鉄筋の束の下敷きになり、俯せの状態では倒れているところを、資材運搬のために来場した陸運業者の運転手に発見されたもの。発見時、被災者は既に意識不明であり、搬送先の病院で死亡が確認された。
26	10	12時台	食料品製造業	30人以上 49人	はさまれ まれ・巻き込	一般動力機械	被災者は生そば製造ラインにて生そばを製造していたところ、食品加工用混合機に巻き込まれ死亡したものの。

平成26年 建設業における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	1	10時台	土木工事業	10人未満	おぼれ	仮設物・建築物 構築物・建築物	被災者は水槽建屋コンクリート内壁の防水工事中、農業用水路(鋼管、直径2m)入口付近で容器に水を汲んでいたところ、下り勾配の水路内に転落し底部で死亡しているのを発見されたもの。
26	2	11時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物・建築物 構築物・建築物	被災者他3名で、屋根の雪降り作業で屋根(幅22.5m、奥行16.15m、高さ最高約9.4m、最低は軒の約4.4m)の端(軒付近)で雪庇を降ろしていたところ、突然、滑り落ちた屋根の雪とともに軒下に2名が落下し雪に埋もれ1名が死亡したもの。
26	2	17時台	土木工事業	10人未満	墜落・転落	建設機械等	被災者はブルドーザーを操作して雪をステージ付近から雪山の頂上まで押し上げて移動させていた。頂上付近まで押し上げたため後退していたところ、横滑りして雪山の法肩から斜面を1回転しながら21m滑落し、キャビンの中で頭部を強打し死亡したもの。
26	2	7時台	土木工事業	30人以上 49人	はさまれ まれ・巻き込	動力運搬機	被災者は貨物自動車の荷台で荷台上を前進する不整地運搬車の誘導をしていた。運転手はブレーキペダルを踏もうとしたが、誤って右隣のアクセルペダルを踏んだことからさらに前進した際に、被災者は不整地運搬車前方と貨物自動車の鳥居部の間に右胸部を挟まれ死亡したもの。
26	5	14時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落・転落	用具	被災者は下水処理施設の建築工事現場において、脚立(天板までの高さ約1.8m)を使用し、コンクリート建築物の型枠解体作業中であったが、付近で別作業中の同僚にコンクリート床面に脚立とともに倒れている状態で発見された。ヘルメットを着用していたが、脚立から転落し、後頭部をコンクリート床面に強打したものと推定される。
26	6	8時台	土木工事業	30人以上 49人	飛来・落下	用具	道路改修工事において、つり上げ荷重2.9トンの移動式クレーン(移動式クレーン仕様ドラグ・ショベル)で重量約1.1トンの大型土のうをつり上げて回転させたところ、つり具のシャックルが破断し、被災者が落下した荷の下敷きになり死亡したもの。
26	7	15時台	土木工事業	10人以上 29人	激突され	環境等	被災者は、林道建設のための伐開作業において、伐倒した伐倒木の玉切り作業を行っていたところ、他の労働者が伐倒した立木に激突されたもの。

平成26年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	7	16時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	環境等	河川の護岸工事現場において、河岸に設置した掘削用機械で河床を所定の深さに掘削する作業を行っていたところ、深さ約4メートルある法面が幅約11メートルにわたり崩壊し、法面の崩壊を防ぐため応急措置的に立て掛けてあった鋼鈑が倒れ、河床で合図を送る業務に就いていた被災者が下敷きとなったもの。
26	8	6時台	その他の建設業	10人未満	交通事故（道路）	乗物	2台の社有車に2名づつ分乗し、小型ボイラーの入替工事のために事業場を午前4時に出発し、高速道路を降りて国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向してきたトラックと正面衝突した。運転していた被災者が死亡、助手席の同乗者と対向車の運転手が軽傷を負った。片側1車線の直線道路で路面は乾燥していた。
26	8	0時台	土木工事業	10人以上29人	火災	その他の起因物	建設工事のための寄宿舍において深夜、火災が発生し死亡したもの。入居者10人のうち、6人は2階の窓や屋外非常階段から脱出し、ほかの4人は焼死体として発見された。死亡した4名うち2名が建設作業員で2名は寄宿舍の炊事婦であった。また、脱出した6名のうち建設作業員1名は重体であったが9月に死亡したもの。寄宿舍の1階は食堂や浴室などの共用スペース、2階は寝室となっており、燃え跡から出火場所は1階の物入れと推定され、ゴミなどが置かれていた。（死亡者3名）
26	9	8時台	建築工事業	10人以上29人	飛来・落下	建設機械等	被災者は土間部に打設されたコンクリートの仕上げ作業に従事していたが、作業場所を移動するために他社がコンクリート打設に使用していたコンクリートポンプ車のブームの下を通行したところ、同ポンプ車のブームが根元付近で折損して落下し、同ブームの先端付近の下敷きになったもの。
26	9	11時台	土木工事業	30人以上49人	交通事故（道路）	乗物	被災者は豪雨による道路への土砂流出の復旧工事のため、片側1車線の下り車線をコーンで仕切り流出した土砂等をスコップ等を使用し撤去していたところ、上り車線を走行してきた軽自動車作業場所に進入し、作業員4名がはねられ1名が死亡し3名が負傷したもの。
26	9	16時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	用具	被災者は、個人住宅の屋根のシート防水補修工事において、住宅と塀の間に梯子を立て掛け、梯子から屋根に移動中、地面（アスファルト歩道）へ墜落したものの。
26	9	8時台	土木工事業	10人以上29人	有害物等との接触	危険物・有害物等	被災者は屋外にて道路脇の雨水枡の清掃作業において雨水枡（内径幅60cm、奥行60cm、深さ1.8m、水深22cm）の中に入り、目皿と呼ばれる円形（直径約54cm）の金属製の格子が所定の位置から脱落していたため枡の中から取り出す作業を行っていたところ、意識がない状態で発見され、死亡したものの。

平成26年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	10	15時台	土木工事業	10人未満	交通事故(道路)	乗物	被災者は、橋梁架替工事において、土砂等を搬入していたダンプトラックが道路上に落としていった土や砂等を、現場車両入場口付近で単独で清掃していたところ、道路を走行してきた乗用車にはねられ全身を強打し意識不明となっていたが、翌日死亡したものの。
26	11	9時台	その他の建設業	10人以上29人	崩壊・倒壊	電気設備	被災者は民有地の電柱建替工事現場において、高さ7.6mの木製電柱に登り、高さ7.0mの位置の電線を取外した後、高さ5.6mの位置まで下りてきたところ、当該電柱の根元が腐食していたために折れて、電柱と共に地面に激突したものの。
26	11	8時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物・構築物・建築物	被災者は木造3階建て集合住宅の外壁塗装工事現場において、建物外周に沿って組まれたくさび式足場の養生用メッシュシートの取付け作業中、足場3段目の作業床より6.1m下方の地上に墜落したものの。
26	11	21時台	土木工事業	10人以上29人	交通事故(道路)	乗物	被災者は線路整備工事において、踏切付近の道路上に停車したトラックから作業機器を人力により降ろしていたところ、一時停止することなく踏切内に入ってきた一般車両に跳ね飛ばされ死亡したものの。
26	11	14時台	建築工事業	10人未満	崩壊・倒壊	仮設物・構築物・建築物	被災者は地上9階地下1階建て鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の解体工事現場において、建物の5階で車両系建設機械(解体用)により引き倒した壁の下敷きとなったもの。被災者は解体した養生用足場部材を受取る作業に従事していたが、何らかの理由で解体作業中の建物5階へ移動し被災した。
26	11	14時台	建築工事業	10人未満	はさまれ・巻き込	建設用等機械	被災者は高所作業車を使用して屋根垂木の固定作業を行っていたところ、高所作業車の作業床(FRP製の箱の形状)から上半身を前のめりにし胸腹部で操作盤を押しつけるようにして建物の鉄骨構造材に挟まれ、死亡したものの。

平成26年 道路貨物運送業等における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	1	11時台	道路貨物運送業	10人以上29人	飛来・落下	動力運搬機	被災者はトレーラー上のコンテナから横付けしたフォークリフトのパレットに荷であるドラム缶を移し替える作業を行っていたところ、高さ約1.3mのコンテナから墜落した後、落下したドラム缶が頭部に直撃し死亡したものの。
26	3	8時台	道路貨物運送業	10人以上29人	崩壊・倒壊	人力運搬機	被災者は同僚と二人でロールボックスをトラックに載せるため、傾斜路を押す形で移動させていたところ、ロールボックスの前側の車輪がトラックのテールゲートに載ったところでロールボックスが傾き、同僚は逃げたが被災者側に倒れロールボックスの下敷きになり死亡したものの。
26	3	21時台	道路貨物運送業	30人以上49人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者はトラックで会社を出発し、荷主事業場で製品を積み、配送先の事業場で荷卸し後、帰社するため走行中、対向車両と正面衝突し死亡したものの。
26	9	9時台	道路貨物運送業	10人以上29人	飛来・落下	環境等	被災者は作業場において、コンクリートミキサー車から生コンクリートをホッパーに移す作業をしていたところ、岩石（重量約400キログラム）が飛来して、被災者の身体にあたり死亡したものの。
26	10	7時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	乗物	被災者は軽自動車にて荷を搬送した後、帰社するため札幌方面に向けて移動中、トンネル内において対向車線を走行してきた建設工事現場に向けて移動中のトラックと衝突し、軽自動車を運転していた労働者が死亡し、トラックの運転手及び同乗者2名が負傷したものの。
26	12	22時台	道路貨物運送業	100人以上299人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、所属事業場から顧客先まで荷を運搬するため、トラック（4トン箱車）を運転し国道を走行中、緩やかな右カーブで道路左脇に設置されている標識の支柱に激突し頭部を強打し死亡したものの。路面は凍結や圧雪状態ではなかった。

平成26年 林業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
26	2	15時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等	被災者は伐木作業(間伐)に単独で従事していた。予定時刻に集合場所に戻らなかったため同僚が探したところ被災者は伐倒木の傍に倒れており死亡したもの。 現場は胸高直径34cmのトドマツが斜面上方に倒れ元口が伐根より下側にずり落ちていた。伐根に弦がなかった。
26	2	10時台	林業	50人以上 99人	激突され	環境等	被災者は山の中腹で雪を掘っていたところ、別の作業員が上方で浴びせ倒しを行ったところ、浴びせられた木の伐倒方向が予定していた方向と変わり、被災者の左胸付近を直撃し死亡したもの。浴びせた木は胸高直径40cm長さ27m、浴びせられた木は35cm31mであった。
26	6	16時台	林業	10人未 満	激突され	環境等	被災者はチェーンソーにてトドマツの伐倒作業を行っていたが、終業時刻を過ぎても被災者が現れないため同僚が被災者を探したところ、前屈みの状態で、樹高約19m、胸高直径約28cmのトドマツの下敷きになっているのを発見した。病院に搬送されたが死亡したもの。
26	11	13時台	林業	10人未 満	崩壊・ 倒壊	環境等	民有林の間伐作業現場で、他の労働者が集材路の確認のため被災者の作業場所にさしかかったところ、木の下敷きになっている被災者を発見したもの。被災者に倒れ掛かった木は根から倒れており、その隣に伐倒木があり、つるが上の方でつながっていた。

平成26年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	2	13時台	水産業	10人未満	おぼれ	環境等	被災者は乗船し刺し網漁に従事中、投網中の被災者が網とともに海中へ転落した。被災者は着用していた救命胴衣にアンカーロープが引っ掛かり、一度海中に沈んだが死亡したものの。
26	3	1時台	水産業	10人未満	おぼれ	用具	被災者は同僚と漁船に乗っていたところ、海中に入れたロープに腕が絡まり海中へ転落し死亡したものの。
26	3	13時台	卸売業	10人未満	おぼれ	乗物	被災者は販売のため車で営業活動を行なっている時間帯に、海に車ごと沈んでいる状態で発見されたものの。
26	4	5時台	警備業	30人以上49人	おぼれ	乗物	被災者は巡回警備業務後に職場に戻らないことから探したところ海底に沈んでいる車の中から発見されたものの。
26	4	7時台	水産業	10人以上29人	おぼれ	環境等	被災者はスクーバ式潜水でのウニ採り作業に従事していたところ、レギュレーターからの気泡が浮上してこなくなったため、別の船で同種作業に従事していたダイバーが捜索したところ、水深約22mの海底でうつ伏せの状態で意識不明となっている被災者を発見したものの。発見時、ボンベのエアは残っており、レギュレーターはくわえたままであった。
26	5	11時台	卸売業	10人以上29人	墜落・転落	動力運搬機	被災者と同僚の二人で廃品回収品をトラック(4t平ボディ)から下ろす作業を行っていたが、同僚が作業の途中でトラックを動かそうとして被災者に声をかけたが返事がなかったため様子を確認したところ、被災者がトラックの後方で倒れているのを発見し病院に運ばれたが3日後に死亡したものの。
26	5	8時台	水運業	10人未満	おぼれ	乗物	沖合バースへ作業員を運ぶ船舶の船長(被災者)が、朝礼後に姿が見当たらなくなったため捜したところ、岸壁に停泊中の自身が操船担当の船舶(4.9トン、定員13人)と岸壁との間の海面にうつ伏せの状態で見つかるのが発見され、病院へ搬送したが死亡が確認されたものの。

平成26年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	6	13時台	医療保健業	100人以上 299人	有害物等との接触	有害物	病院の浴場等に使用する温泉供給設備で、温泉と沈殿物を分ける「分湯槽」と呼ばれるタンク内で沈殿物を除去する作業中、温泉及び沈殿物が攪拌されて温泉及び沈殿物に含まれていた硫化水素が放出されたことにより、作業員2名が硫化水素中毒となり死亡したものの。
26	7	9時台	その他の接客娯楽業	10人以上 29人	墜落・転落	一般動力機械	被災者は乗用芝刈機を運転してゴルフ場の駐車場横の法肩の草刈りを行っていたところ、高さ3.66mの擁壁から乗用芝刈機ごと墜落し、横転した乗用芝刈機の横で俯せの状態で見られたものの。
26	8	5時台	水産業	50人以上 99人	おぼれ	乗物	被災者はホタテ漁のため漁船で作業中、ホタテを採る「八尺」と呼ばれる鉄製の網を海底に沈める準備を甲板で行っていたところ、バランスを崩し八尺とともに海中に転落したものの。
26	8	15時台	その他の商業	10人以上 29人	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物	被災者はくさび式足場専用の天井クレーン(つり上荷重0.13t)を展示するため、自社営業所の敷地内にくさび式足場を設置後に同足場4層目において天井クレーンを設置していたところ、約8m下の地面に墜落し死亡したものの。
26	8	10時台	畜産業	10人未満	激突され	環境等	被災者は牛舎から離れた放牧場の牧柵の内側に仰向けに倒れているのを他の作業員に見られ、病院に搬送されたがまもなく死亡したものの。近くに種牛(体長3m、体高1.5m、体重600kg、3才、黒毛和牛)がロープで牧柵の外側につながれていた。
26	8	0時台	小売業	10人以上 29人	火災	その他の起因物	建設工事のための寄宿舍において深夜、火災が発生し死亡したものの。入居者10人のうち、6人は2階の窓や屋外非常階段から脱出し、ほかの4人は焼死体として発見された。死亡した4名うち2名が建設作業員で2名は寄宿舍の炊事婦であった。また、脱出した6名のうち建設作業員1名は重体であったが9月に死亡したものの。寄宿舍の1階は食堂や浴室などの共用スペース、2階は寝室となっており、燃え跡から出火場所は1階の物入れと推定され、ゴミなどが置かれていた。(死亡者2名)
26	9	6時台	その他の事業	30人以上 49人	感電	電気設備	被災者は屋外受電設備の点検において、高圧開閉器及びケーブルの絶縁抵抗測定を実施していたが、測定終了のため同僚労働者が無線で受電準備を連絡したが応答がなく、同設備内でうつぶせに倒れている被災者を見つけたものの。被災者付近の避雷器(6600Vが通電)等に焦げた痕が認められた。

平成26年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	10	8時台	卸売業	10人未満	はさまれ・巻き込まれ	用具	廃車となったトラックを別のトラックで運搬するため、取り付けられたウインチを使用し積み込み作業中、当該ウインチのワイヤーを通して滑車が壊れて、廃車トラックが荷台の後方に滑り落ち、当該廃車トラックと後方に停車していたフォークリフトの間に挟まれ死亡したもの。被災者は当初フォークリフトの運転をしていたが、フォークリフトから降りていたところ被災したもの。
26	10	9時台	道路旅客運送業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は大型観光バスの運転手として、外国人観光客及び添乗員合計34名を乗せ国道を走行していたところ、緩い下り右カーブにおいて、対向車線を走行していたトラックがセンターラインをはみ出して正面衝突し、死亡したもの。
26	10	5時台	小売業	30人以上49人	交通事故（道路）	乗物	被災者4名は送迎用社有車で事業場へ向け千歳市内の片側2車線の道路の歩道側を走行中、脇道の市道から右折で進入してきた大型ダンプの後部に車両前方から激突し、運転者1名と後部座席の1名が死亡、後部座席の2名が負傷したもの。
26	10	11時台	小売業	10人未満	墜落・転落	用具	被災者は灯油の配送作業において、客先の屋外に置かれた灯油タンクに給油するため、隣家との境界に設けられた塀に片足をかけ、もう片足を灯油タンクに架けられていた木製のはしご（客先が設置したも）の踏みさんにかけたところ、踏みさんが折れて転落し、はしごの縦木に胸部を打ち死亡したもの。
26	11	6時台	土石採取業	10人未満	はさまれ・巻き込まれ	動力運搬機	被災者はダンプトラックの運転手であり、運転しているダンプトラックの荷台と車体の間に挟まれ、死亡したもの。ダンプトラックの荷台を上げ作業していたと推定される。
26	11	15時台	農業	10人未満	はさまれ・巻き込まれ	一般動力機械	被災者は長いも収穫作業において、農業用トラクター（荷車牽引）の荷車荷台に載せられたコンテナに腰を掛けて移動していたところ、転落し荷車の進行方向に向かって右側後輪にひかれたもの。
26	11	8時台	水産業	10人以上29人	おぼれ	乗物	被災者はヘルメット潜水によるウニ漁において、海底の潜水土の動きに合わせて船を微速で移動させていたところ、操船していた船長の意識が一時的に消失して船が急加速し、送気管が引きちぎられて潜水土が溺死したもの。

平成26年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
26	11	16時台	小売業	30人以上 49人	交通事故 (道路)	乗物	被災者は新聞配達中、片側1車線の直線道路を横断していたところ、乗用車にはねられて死亡したものの。
26	6	19時台	小売業	50人以上 99人	墜落・転落	設物・建築物・構築	被災者は2階事務所から1階へ通ずる内階段を降りる途中、階段の中段付近で足を踏み外し頭部、腹部を強打し医療機関に搬送されたが、平成26年11月により死亡したものの。
26	9	9時台	水産業	50人以上 99人	おぼれ	乗物	被災者は海上でホタテ移植作業中、採捕場所に向かって航行している船の右舷側で待機していたところ、波を受けて大きく船体が動揺したため海中に転落し行方不明となった。その後、平成27年1月に死亡が断定されたものの。
26	12	8時台	清掃・と畜業	30人以上 49人	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、業務の際に着用する保護帽を自宅に忘れたことに気がつき、普段被災者が乗務しないトラックに当日使用予定のない保護帽があったため取りに向かったが、トラックの運転席から降りる際に誤って足を踏み外して地面に頭を強く打ち付け、その後入院先の病院で死亡したものの。